

農家のための
最新情報

めぐり
最前線



※防除薬剤の数字は、安全使用基準【希釈倍数・(収穫何日前まで使用可能) / 通算使用可能回数】を表しています。農業安全使用基準を守り、使用してください。

水稲



水稲栽培の時期が近づいてきました。育苗手順を確認して、準備しましょう。

●種もみの準備

種もみは10aあたり3〜4kg準備します。枝梗がついている場合は、あらかじめ脱芒してください。

●塩水選

稔実の良い種もみを得るために実施する重要な作業です。

左の図を参考に選別を行い、沈んだものだけを使用します。選別した種子は流水で洗い、塩分を取り除いてください。

塩水選

参考

種もみの準備
塩水選 (稔実の良いもみを選ぶ)
生期による比重の現れ方

種類	比重	食塩	硫酸
うるち	1.13	2.00kg	2.56kg
もち	1.08	1.22kg	1.50kg

種類添加量(水10ℓあたり)
※塩水選後は十分水洗いしてください。

●種子消毒

育苗中は、病害を発生させないことが大切です。細菌やカビ・害虫対策として種子を消毒してください。

◎ばか苗病・褐条病・もみ枯細菌病・イネシンガレセンチュウ

・テクリードC(水) 200倍

・スミチオン(乳) 100倍

2種類を加用し、24時間浸漬、その後浸種・催芽作業に入ります。

●浸種・催芽

水稲栽培で最初に失敗する可能性がある作業です。浸種時間(発芽に必要な積算温度)が短いと発芽揃いが悪くなります。また、水の入れ替えを怠ると酸欠を起し、催芽の不揃いや、腐敗に繋がるので注意しましょう。

もみ全体の80%がハト胸状態になったら、水から出して陰干しします。

ポイント

①水の交換の目安は、浸種3日後の朝からです。その後は2日に1回程度入れ替えます。

②播種の前日に水から揚げて、水きりをお願いします。

③芽が伸びすぎると播種時に折れるので、1mm程度を目安にしましょう。

④品種により催芽の早さが異なるので、注意してください。

【浸種の目安】(積算温度=水温×日数)
※キヌヒカリ・きぬむすめ (積算温度 80℃未満)

※にじのきらめき(積算温度 130℃未満)
※ヒノヒカリ・にこまる (積算温度 100℃未満)

●播種

播種前に床土(約2kg)を均一に入れてください。箱は10aあたり20枚を目安にしてください。

播種は、床土に十分灌水した後に行います。播種量は、催芽もみで180g/箱、厚播きすると軟弱徒長苗や病害が出やすくなるので注意し、播種後は、種もみが見えなくなる程度(約1kg)の覆土をします。覆土の上からの灌水は病害発生の原因となるため、行わないでください。

育苗箱の目が粗く床土がこぼれる、根が絡まって育苗箱から取り出すのが大変な場合は、クラパピーなどの防根シートを使用しましょう。

※田植時には必ず防根シートをはずしてください。

●育苗

育苗中にカビ(苗立ち枯れ病)が発生した場合は

・タチガレン(液) 500倍(播種時及び発芽後/2回) *フザリウム・ピシウム菌 または

・ダコニール1000 1000倍(播種時から緑化期、ただし播種14日後まで/2回) *リゾープス菌

を育苗箱1箱あたり50ml灌注してください。

キャベツ



気温が高くなるので、裂球と病害虫の発生には十分注意してください。

収穫が終わった圃場は早めにすきこみましょう。

●追肥 ※SE・恋舞

▽結球開始期

・ニューパワーユーキ262 (80kg/10a)

※ハクサイ後に定植している場合は100kgに増肥してください。

または

・アツマップ545 (100kg/10a)

●病害虫防除

※石井中早生・YR春空

・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)

・バリダシン(液) 500倍(7日/5回)

ハクサイ(春どり)

暖かくなるにつれて芯の上がりも早くなるため、適期収穫を心掛けてください。

●病害虫防除

▽4月上旬

・グレーシア(乳) 200倍(7日/2回)

・コルト(顆) 400倍(3日/3回)

・シグナムWDG 1500倍(7日/3回)

▽4月中旬

・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)

・トランスフォーム(フ) 200倍(3日/3回)

・バリダシン(液) 500倍(3日/3回)

◎石灰欠乏症(アンコ)対策

・パフォームCa 500倍

結球開始期までに適宜散布しましょう。

農薬散布と同時に使用できます。

●灌水

乾燥すると外葉の発達が抑えられるばかりでなく、石灰欠乏症(アンコ)およびホウ素欠乏症の発生が懸念されるため、通路灌水を行います。

●追肥 ※春さかり・黄菜70

▽被覆資材(パオパオ) 除去後

・ニューパワーストリー(春どり) (60kg/10a)

ブロンズリー(春どり)

春は花蕾の肥大が早いので、適期収穫を心掛けてください。品質を保つため、涼しい時間帯に収穫し、低温で管理しましょう。

●追肥 ※ピクセル

▽花蕾発現期

・ニューパワーストリーキ262 (60kg/10a)

●病害虫防除

▽4月中旬

・グレーシア(乳) 200倍 (7日/2回)

・シグナムWDG 1500倍 (7日/2回)

新シヨウガ

●追肥

根の発達を促進するためには、追肥を中心とした肥培管理が適しています。

1次莖の葉数が5〜6枚頃に第1回目の追肥を行います。以降、収穫期まで1カ月ごとに行いましょう。

●土寄せ

追肥作業と同時に行ってください。肥料の効果を高めるとともに、新しく発生する塊茎の緑化を防ぐこともできます。

●病害虫防除

◎アワノメイガ

・パダンSG(溶) 1500倍 (7日/5回)

◎紋枯病

・バリダシン(液) 5 800倍 (14日/4回)

◎根茎腐敗病

発生した株はすみやかに抜き取り、薬剤で防除してください。
・ランマン(フ) 500〜1000倍 (2〜3回/)

m (30日/3回) *土壌灌注

または

・ユニフォーム(粒) 18kg/10a (30日/3回) *定植前作条土壌混和または生育期土壌表面散布

ピーマン



開花から収穫までの日数は、約15〜20日です。たくさん実がついた場合は早めに収穫し、株の疲労を防ぐことが大切です。収穫が遅れた実は皮が硬くなり、色も悪くなるため注意が必要です。

●病害虫防除

◎灰色かび病・菌核病

高温多湿で発生が多くなるので注意してください。

・ロブラール(水) 1000〜1500倍 (前日/4回)

◎うどんこ病

発病してからでは完全防除が難しいので、予防的な散布をしてください。

・パレード20(フ) 2000〜4000倍 (前日/3回)

または

・シグナムWDG 2000倍 (前日/2回)

◎アブラムシ類

・ウララDF 2000〜4000倍 (前日/2回)

・コルト(顆) 4000倍 (前日/2回)

●追肥

通路を溝切りし、ぼかし肥料等を施す場合は、4月末までに終えましょう。遅れると根痛みの原因となります。また、液肥では、樹勢に応じて加減し、月2〜3回(1回あたり、窒素成分で1〜2kg/1000本)を目安に散布してください。

●灌水

活着までは株元灌水(手灌水)とし、活着後は灌水パイプで灌水しましょう。生育が進むにつれて水分要求量が増すので、灌水パイプと併せて畝間灌水をして乾燥防止に努めてください。

トウガン



●定植(トンネル栽培)

本葉5〜6枚の苗を植えます。トウガンは高温・乾燥に強く、低温・多湿には弱い性質をもちます。畑の準備(畝立てやマルチ)は早めに行い、排水の改善や地温を上げておく準備をしましょう。また、定植時にホットキャップで保温すると、初期生育を早めることができます。ただし、4月中下旬までは夜間の保温に努め、日中は30℃以上の高温にならないよう、十分に換気を行ってください。

●人工授粉・トンネルの除去

気温が低くハチの飛来が少ないため、早朝に人工授粉を行い、確実に着果させてください。

4月下旬頃、気温が安定したらトンネルをはずします。

ニンジン



播種後から生育前半にかけ、土壌を乾燥にさせないよう注意してください。

●間引き・追肥

本葉3〜4枚の時期に間引きし、その後は遅れないよう追肥をしてください。施肥量は収穫期に近づいて葉の生育がぶり、少し色が落ちる程度にすることが品質を良くする方法です。また、乾燥が続く、急にしおれるような場合は灌水をすることが大切です。

●抽苔の発生

本葉8枚の頃に10℃以下の低温にあることで花芽を作り、その後の長日・高温(10〜25℃)で抽苔します。天候を見て被覆を除去しましょう。

●裂根の発生

本葉4〜5枚の頃に乾燥・低温にあたり、生育後半に温暖・多雨の場合、急激に根が肥大することで発生が多くなります。また、収穫の遅れも発生要因となるため、適期収穫に努めましょう。

●病害虫防除

◎黒葉枯病

雨天が続く、生育が落ちたときに多発します。初期防除が重要です。

・ポリオキシシンAL(水) 500倍 (7日/5回) または

・ベルコート(フ) 1000倍 (14日/5回)

ダイコン



春栽培は天候により生育スピードが変わるため、生育に応じて収穫時期を調整しましょう。

●病害虫防除

◎黒斑細菌病・斑点細菌病・軟腐病

温暖多雨の気候で発生し、土壌伝染・空気伝染により被害が拡大します。春作では発病する可能性が非常に高いため十分注意してください。

▽4月中旬

・カセット(水) 1000倍 (14日/3回)

▽4月下旬

・マイコシールド 750〜1000倍 (14日/3回)

◎キスジノミハムシ

成虫は葉を食害し、地際部または土壌中に産卵します。幼虫は根部表面を食害し、1mmの小さな穴を点々とあけ、被害がひどいものは一面ミミズが走ったようなサメ肌状となります。

◎タネバエ

地際部または土壌中で生まれた幼虫は、根部に1〜5mmの穴をあけ、根の表面に対して直角に内部に侵入します。

産卵には土壌水分が重要で、畑の耕起後や降雨後などの湿り気のある状態を好みます。薬剤の土壌混和や降雨後の薬剤散布による防除を行いましょ。

▽播種時(全面土壌混和1回)

・フォース粒剤 6〜9kg/10a

▽被覆資材除去後または間引き後

・ダイアジノン(粒5) 6kg/10a (21日/1回) *株元土壌混和

▽生育期

・モスピラン(顆) 200倍(14日/1回)

・パダナSG(溶) 150倍(7日/3回)

ウメ



4月は新芽が開き、果実も急激に肥大し、生理落果の時期となります。

●病害虫防除

▽4月上旬(発芽期)

◎かいよう病

特に風あたりの強い園地で多く発生し、山間地で霧の発生しやすい園地や低温で水はげが悪い園地でも発生しやすくなります。防風垣または防霜ファンを設置し、発生を予防しましょう。毎年発生が見られる園地では、落弁期から防除を行いましょ。

・マイコシールド 150倍(21日/4回)

◎黒星病

4〜5月にかけて雨の多い年に発生が多く、特に低温多湿地や通風の悪い園地で発病しやすいため、排水・通風を良くすることが重要です。防除時期は、肥大初期(4月上旬)と小豆粒大期(4月中旬)に行いましょ。

・デラン(フ) 200倍(14日/2回)

◎カイガラムシ類幼虫

・アプロード(フ) 100倍(7日/2回)

・アビオンE 1000倍 加用(展着剤)

▽4月中旬(幼果期)

◎かいよう病

・マイコシールド 150倍(21日/4回)

◎黒星病

・ペンコゼブ(フ) 100倍(21日/3回)

▽4月下旬(果実肥大期)

◎かいよう病

・マイコシールド 150倍(21日/4回)

◎黒星病・すす班病

・オンスサイド(水)80 800倍(21日/3回)

または

・スコア(顆) 300倍(前日/3回)

●実肥

▽4月下旬

生理落果終了時から結実時に、果実肥大と新葉の生育促進のため実肥を施用します。

・エコレット26(50kg/10a)

●灌水

晴天が1週間以上続き、土壌が乾燥した場合、1樹あたり100ℓ程度灌水してください。

モモ



4月は満開期を迎え、摘果の時期となります。

●摘果

果実肥大に差が見られる、満開後40日頃から開始し、硬核期が始まる満開後50日頃までには終了し、樹勢・品種・剪定度合・地力によって加減しましょ。なお、日川白鳳など早生品種は果実が小さいので早めの着果制限をし、硬核期前の

仕上げ摘果を重視しましょ。

●結果枝へのらせ方

短果枝は先端部に、中・長果枝は中央部を中心に着果させます。

着果位置と果実品質との関係を見ると、先端部分に着果させた果実は大きく、糖度も高い傾向にあります。しかし、中・長果枝では核割れ果等が見られるため、品質が安定する中央部を中心に着果させます。

●病害虫防除

▽4月上中旬(落弁期)

◎せん孔細菌病

・バリダシン(液)5 500倍(7日/4回)

◎黒星病・灰星病

・ストロビーDF 200倍(前日/3回)

◎アブラムシ類・ケムシ類

・オリオン(水)40 1000倍(14日/2回)

▽4月下旬(展葉5〜6枚)

◎果実赤点病・黒星病

・ジマンガイセン(水) 600倍(21日/3回)

または

・ペンコゼブ(水) 600倍(21日/3回)

◎せん孔細菌病

・マイコシールド 150倍(21日/5回)

◎アブラムシ類・モモハモグリガ

・アドマイヤー(水) 200倍(3日/2回)

カキ



●病害虫防除

▽4月中旬 ※刀根早生・富有

◎ケムシ類・ヒメコスカシバ・フタモン

マダラメイガ

・フェニックス(フ) 400倍(7日/2回)

●摘果作業

▽4月下旬

カキは養分吸収の開始時期が遅く、芽から開花期までに必要とする養分のほ

とんどが前年に蓄えられた貯蔵養分によってまかなわれています。残す蕾は1結果枝に1蕾が基本です。ヘタ4枚が揃い充実した傷のない大きい蕾で、結果枝中部の下向きか横向きの蕾を残します。下向きの結果枝や、新葉が5枚以下の枝は全て摘蕾し、遅れ花も除去しましょ。

ミカン



4月になると気温の上昇とともに病害虫の発生が多くなります。適宜防除に努めてください。「そうか病」等は風雨によって伝染するので注意しましょ。

●病害虫防除

▽4月

4〜5月頃に雨が多く比較的低温の年は、日照不足により葉が軟弱で病気に侵されやすい状態になります。病原菌は風や雨によって運ばれ、葉や果実上で発病し、拡大します。新芽がわずかに伸びた頃を目安に防除を行ってください。

◎そうか病

・デラン(フ) 1000倍(30日/3回)

●摘蕾

樹勢が弱く、ベタ花になりやすい「ゆら早生」などでは、発育枝がほとんど出ないため、放置すると枯れこみやすくなります。そのため、主枝先端部を摘蕾し、五月芽を発生させ樹勢回復を図っていくことも大切です。作業は、蕾が大きくなり開花が始まるまでに行いましょ。

土壌分析をしましょ!

土壌分析を希望する方は、乾燥させた20g程度の土を袋に入れ、住所・氏名・電話番号と品目名(水稻キヤベツ・ミカン等)を記入し、4月17日(金)までに各営農センターまでご持参ください(1点50円)。分析結果は5月中旬頃にご連絡いたします。

1月に開いた令和8年産水稻・果樹栽培集落別説明会でさまざまな質問をいただきましたので、回答と併せてご紹介いたします。

Q 「農力アップ」の効果を教えてください。

A ケイ酸は茎葉を強くし倒伏軽減効果と受光体制を良くし高温障害の発生抑制、鉄分は根を保護し養分吸収の向上に役立ちます。これらの成分は通常の肥料では補えないため、毎年施用してください。

Q 「スクラム箱粒剤」の散布時期はいつごろか。

A 田植え3日前〜前日の施用をおすすめします。水稻に農薬成分が吸収され、安定した効果が期待できます。もちろん当日施用も可能です。

Q 除草剤散布前に藻が発生してしまつた場合、どうすればいいのか。

A 「モグトン粒剤」を散布後、藻がなくなつてから除草剤を散布してください。藻がある状態では成分が広がらず薬害が発生する可能性があります。

Q なぜ本田防除を2回しなくてはいけないのか。

A 1回目は害虫(ウンカ等)の初期防除・病害(いもち病・紋枯病)の予防、2回目は「カメムシ」防除を目的としているため、必ず行ってください。

Q 苗の長さがどのくらいになったら太陽シートを外せばいいのか。

A 10cm前後に成長したところに除去してください。

Q 「カメムシ」被害を減らすには農薬以外に方法はあるのか。

A 出穂約2週間前までに圃場周辺の除草をすると発生源が減り、被害軽減につながります。地域全体で除草をすると効果が大きくなります。

Q 土壌分析はいつのタイミングですればいいのか。

A 土壌改良剤や施肥量を調整することが考えられるため、収穫後がおすすめです。少なくとも肥料等を散布する前に行ってください。

Q 「寒すぎ」をする理由を教えてください。

A 厳寒期に耕起することで、ウンカ類やジャンボタニシの越冬数を減らします。乾土効果を高め、地力向上を促しますので、深耕してください。

Q 古い農薬が残っている。処分はどうすればいいのか。

A 有償となりますが、3年ごとに農薬を回収しています。今年は回収年ですので、秋頃に広報誌でお知らせします。



地域の活動をお届けします!

ふれあ TOPICS

園主が特色をPR
農業体験農園利用説明会

中央営農センターで農業体験農園利用希望者に説明会を開きました。「梅原ファーム」「太田ファーム」「Bee Park つわだ」「食農体験あまがえる」の園主が特色をPR。希望に沿う農園で満足度を一層高めようと企画しました。

当地域が支援する体験農園は、農具や苗など全て園主が用意し、手ぶらで体験できるのが特徴です。各園主は食卓を賄える多彩な品目、収穫量をPRし、「太田ファーム」ではSNSで栽培講習会の反復学習ができる利点、「あまがえる」は栽培過程も重視した取り組みなど特色を紹介。出席者は利用に向け、期待を膨らませました。



初の准組合員懇談会
役員と直接対話

当地域で初の准組合員懇談会を開きました。全国的に准組合員は増加傾向で、存在意義が高まりつつあります。JAの取り組みに理解を深めてもらい、より地域に密着した事業運営を目指そうと企画。准組合員16人が出席しました。

半田地域本部長が「意見は財産となる。運営、サービス向上に役立てていきたい」とあいさつ。組合員の定義やJA概要を紹介し、各部長が事業内容を説明。国消国産や過去30年間の活動をまとめた動画も投影し、出席者からは「支店は明るく活気があり、親切」「幅広く広報活動をして欲しい」などの意見・感想が寄せられました。



ふれい TOPICS トピックス

安全・安心の地域社会に
防犯パトロール車を寄贈

安全・安心で持続可能な地域の実現を支援するため、和歌山市に青色回転灯付防犯パトロール車1台を寄贈しました。市内の小中学生の登下校の見守り、地域の巡回活動に役立てられます。

昨年度の教育委員会の取り組みでは、登下校の見守りを延べ1053校区で実施。不審者対応や補導活動などを行いました。

市役所で行った受入式では、半田地域本部長からレプリカキーを受け取った鶴巻郁夫副市長が「和歌山市への深い理解と協力によるもの」と述べ、感謝状を贈りました。出発式も行われ、当日からパトロールに使用されました。



熱戦！激戦！全カプラー！
再始動 少年サッカー大会

県1J/A合併で当地域の主催となり、再始動した「第1回J/Aわかやま杯少年サッカー大会」。せせらぎ西グラウンドで17のクラブチームが熱戦を繰り広げました。予選リーグからトーナメント戦まで行い、「伏虎少年サッカークラブ」と「FC Flace」が決勝戦に進出。伏虎が攻防戦を制して前半に先取点、後半も2点を追加し、3対0で優勝しました。

伏虎のMVPに輝いた田中連選手は「ゴールも仲間のパスが繋いだ結果。練習の成果を発揮できた」と笑顔を見せていました。



優勝した伏虎少年サッカークラブ

女性大学第3回講座

女性大学第3回講座は料理教室。厚生産業㈱の宮崎宏之佐さんを講師に迎え、**米こうじ味噌作り**を学びました。

大豆をすりこぎ棒で潰す作業は意外と重労働。舌触り良い味噌を作ろうと熱心に取り組んでいました。塩切した米こうじを混ぜ、容器に仕込んだあとは4カ月ほど発酵させて完成です。受講生は「出来上がりお待ち遠しい」と話していました。



キラキラ女性会

女性会活動

自衛隊和歌山地方協力本部による**防災訓練**を中央宮農センターで開き、会員88人が参加しました。命を守る防災バッグの中身などを学び、毛布を使った応急担架の作成・運搬方法、AEDを用いた心肺蘇生法、救助に役立つロープワークの実践もしました。

訓練は今年で3年目。実技の習得には反復練習が重要です。島本副会長は「3回目にしてロープの結び方を習得できた。継続的に実施していきたい」と話していました。



直川支部

会員14人がグリーンファームで**ウィンナー作り**を体験しました。味付けした豚肉のミンチをピストル式の容器に入れ、羊腸に詰めていきます。好みの大きさを作り、高温で蒸しあげて完成です。出来上がったオリジナルウィンナーはとっても美味しく、皆さん大満足でした。



愛菜てまりっこ 4〜5月

4月10日(金)
てまりっこの日
月に一度の大特価!

4月24日(金)〜25日(土)
感謝セール
旬の農産物を
感謝価格でご奉仕!!

5月9日(土)
てまりっこの日
月に一度の大特価!

5月22日(金)〜23日(土)
感謝セール
旬の農産物を
感謝価格でご奉仕!!



郷土ランナーを応援!
和歌山市チーム優勝!



2月に和歌山県市町村
対抗ユニニア駅伝競走大
会が開催され、和歌山市
チームが見事、優勝しま
した! 当地域は開催に先
立ちマフラータオルやJ
OINジュースを贈り、
選手団を応援しました。

Instagramで
お得な
最新情報を
発信中!



無料相談会

弁護士無料法律相談会

権利・示談・債務・相続など、組合員の
皆さまの法的な相談に、弁護士が直接対
応します。

「開催日時」毎月第4木曜日

9時30分〜12時(お一人様30分程度)

「開催場所」わかやま地域本部2階第3会議室

4月の開催日は4月23日(木)です。

相談には予約が必要です(先着5組)。最
寄りの支店またはわかやま地域本部総務部
(☎471-3731)までお問い合わせ。
お申し込みください。

なお、今回の開催予定は5月28日(木)です。

年金相談会／相続・遺言相談会

社会保険労務士・税理士が直接対応いた
します。事前予約が必要ですので、開催支店
にお問い合わせ・お申し込みください。

「開催日程」

4月16日(木) かせい支店 ☎455-0044

5月21日(木) 六十谷支店 ☎461-0011

開催時間はいずれも10時〜15時です。

ローン相談会

住宅ローン・リフォームローン・カーロ
ン・教育ローンなど。借換、お見積り、お気
軽にご相談ください。

わかやまローンセンター(JAビル支店隣)

☎423-4160

平日(9時〜17時)・日曜(10時〜16時)

MY FAMILY

ももちちゃん(1オ・ラブラドルレトリバー)

木村吉伸さん・登美さん(楠本)



たくさん遊んで
健康でいてほしいです。



吉伸さんお手製の人工芝で。ももちちゃんが走り
回れるように整備しましたが、枝や葉っぱを食
べてしまうため、泣く泣く断念。いつかは庭で
遊び回る姿をゆっくり眺めたいとのこと。

成長期真っ只中! 来訪
者を見ると元気がいっぱい吠
えてアピールするももちゃ
んは、木村家の愛犬です。昨
年5月、長野県に住む長女の
紹介で子犬の写真が送られ、
そのかわいさに即決し、迎え
入れました。気づけば1年足
らずで大型犬の風格になり
ました。

好奇心旺盛で何でも食べ
てお腹を壊しがちなももち
ちゃん。危険なものを口にしま
いか夫婦で常に見張ってい
ます。服も噛み、破ってしま
うそうですが「安い服はなぜ
か噛まない(笑)」と登美さん
が話していました。

散歩は四方八方に引っ張
るパワーを翌日には按摩に
通う吉伸さん。最近はおドッグ
スクールでしつけや散歩の

一緒に遊んで
ほしいワン!!



迎え入れて1週間目。吉伸さん
お気に入りの一枚です。「とにかく
かわいい」と、アルパムはす
っかりももちちゃん一色です。

基本を勉強し、楽になってき
たものの「通院しながら散歩
している」と笑っていました。
「遊びは体力勝負」と話す
お二人ですが、足を伸ばして
くつろいでいると頭を乗せ
て寝る姿に癒されていくそ
う。もうひと回り大きくなる
予定のももちちゃん。楽しい奮
闘の日々が続きそうです。



ももちちゃんは7兄弟。首輪がもも色だったこと
から名づけました。みんな長野県で暮らし、定
期的に集まっているそうで「ゆくゆくは連れて
行ってあげたい」と話していました。